

総務常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	担 当 課
1	旧片浦中学校の活用について	企画政策課
2	公共施設再編事業について	公共施設 マネジ メント課
3	下大井地区の墓地の経営許可について	環境保護課
4	(仮称) 豊川出張所の整備について	広域調整課

平成29年11月7日

旧片浦中学校の活用について

1 契約の概要

賃貸借	旧片浦中学校の土地及び建物を、学校法人国際学園に貸付
指定用途	星槎国際高等学校のキャンパス及び寄宿舍として使用
賃貸借期間	平成30年1月1日から平成50年3月31日まで
貸付料	年額約400万円 ※貸付料は不動産鑑定に基づく算定
かし 瑕疵担保	契約締結後、隠れた瑕疵があった場合の貸付料の減免及び損害賠償等は請求できない。
使用上の制限	学校運営に支障のない範囲において、地域団体等は無償で使用させる。 災害時において、避難所として無償で使用させる。等
施設の管理等	施設の活用開始に必要な改修、日常的な保守・管理、30万円以下の軽微な修繕は学校法人国際学園が負担 上記のほか施設の機能を維持し外観を保つ範囲の修繕、建物の躯体等に係る修繕は小田原市が負担

2 施設修繕費市負担の考え方

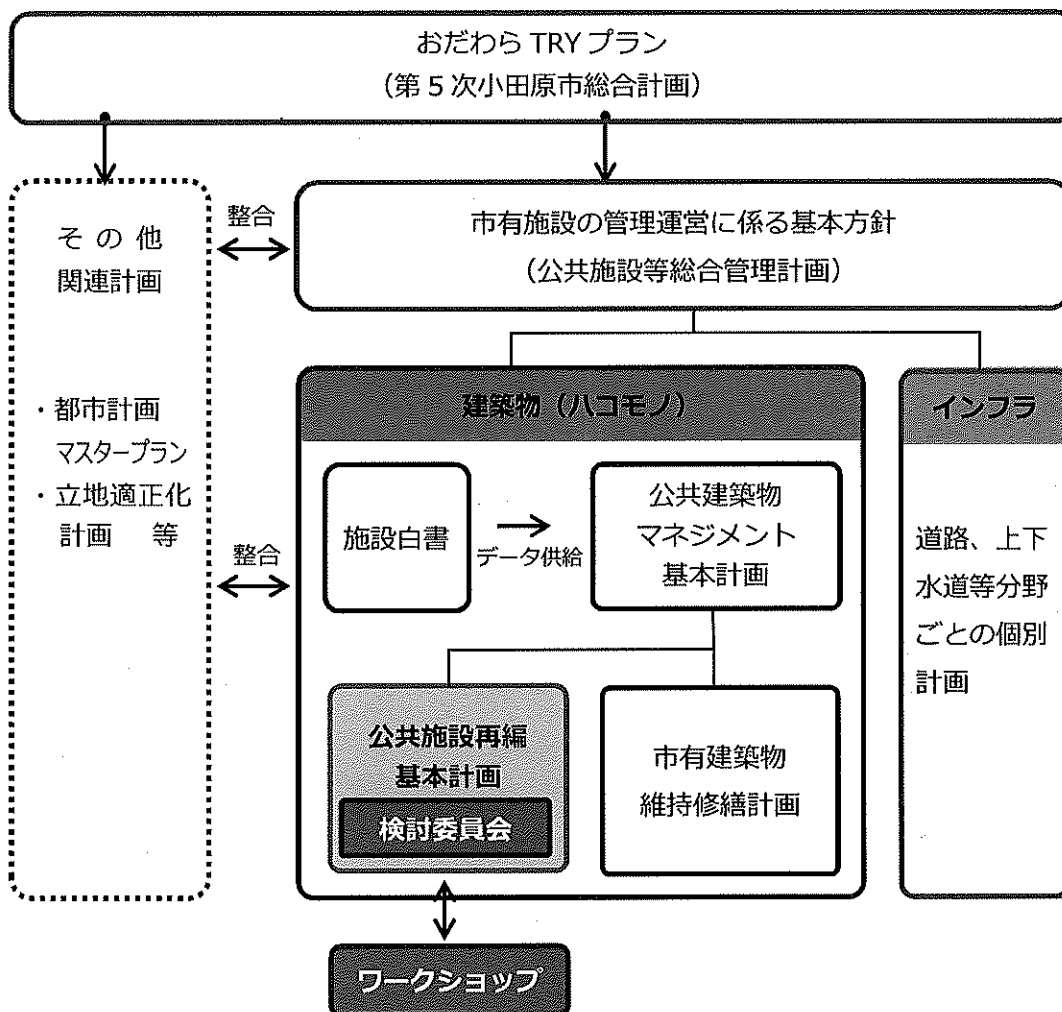
旧片浦中学校の今後想定される修繕費(屋上防水や外壁塗装等)については、賃貸借期間(約20年間)の貸付料収入の範囲で対応する。

3 今後の主なスケジュール(予定)

平成29年11月	地域住民説明会(第3回)
12月	施設の賃貸借に関する基本契約締結 12月補正予算提案 (国有財産払下げ費用、貸付料収入、修繕費)
平成30年1月～3月	国有財産払下げ、本契約締結、建築工事
4月～	学校教育施設(キャンパス及び寄宿舍)活用開始

公共施設再編事業について

1 公共施設再編基本計画の位置付けと取組のスキーム



2 小田原市公共施設再編基本計画策定業務委託

(1) 進捗状況

- | | | |
|------------|---------------|-------|
| 平成29年6月21日 | ・業務委託プロポーザル実施 | |
| 6月30日 | ・業務委託契約締結 | |
| | ・データの収集整理 | } 作業中 |
| | ・施設の分析評価 | |

(2) 今後の予定

- | | |
|----------|--------------------|
| ア 平成29年度 | ・施設類型別等の方針の検討 |
| イ 平成30年度 | ・個別施設の再編方針の検討 |
| | ・施設面積や財政負担の縮減効果の算定 |
| | ・ロードマップの作成 |
| | ・再編基本計画の策定 |

3 小田原市公共施設再編基本計画策定検討委員会

(1) 委員名簿

職	氏名	所属等
委員長	葉 養 正 明	文教大学 教育学部 心理教育課程 教授
副委員長	山 本 康 友	首都大学東京 都市環境学部 客員教授
委員	遠 藤 新	工学院大学 建築学部 まちづくり学科 教授
委員	鈴 木 伸 治	横浜市立大学 国際総合科学部 まちづくりコース 教授
委員	小 野 康 夫	社会福祉法人 小田原市社会福祉協議会 会長
委員	木 村 秀 昭	小田原市自治会総連合 会長

(2) 委員会

開催	議題
【第1回】 7月14日(金) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会について ・ 計画の策定目的について ・ 小田原市の公共建築物をとりまく状況について ・ 計画の策定スケジュールについて
【第2回】 10月10日(火) 18:00～20:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設再編基本計画の対象施設の現状について ・ 第1回検討委員会における要求資料について ・ 市民ワークショップ対象地域の公共施設の状況について ・ 施設評価の実施方法(案)について

4 小田原市公共施設再編基本計画策定アドバイザー

氏名	所属等
小野田 泰明	東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 教授

5 シンポジウム

(1) 日 時 平成29年7月29日(土) 10時30分～12時30分

(2) 場 所 生涯学習センターけやき ホール

(3) 内 容

ア 基調講演

・テーマ「人口減少時代のまちづくりと公共施設マネジメント」

・講演者：山本康友（首都大学東京 客員教授）

イ 小田原市における取組の説明（公共施設マネジメント課）

ウ パネルディスカッション

・テーマ「地域が元気になるための場所づくりに向けて」

・パネリスト：鈴木 伸治（横浜市立大学 教授）

遠藤 新（工学院大学 教授）

木村 秀昭（小田原市自治会総連合会長）

橋本 直子（自治体等女性FM会幹事・佐倉市職員）

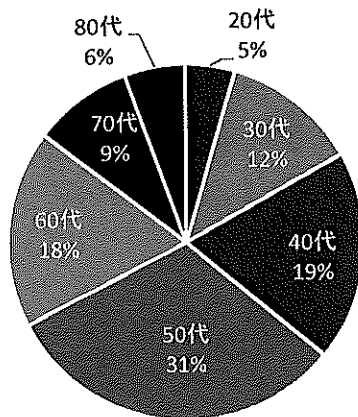
・コーディネーター：小野田 泰明（東北大学大学院 教授）

(4) 来場者数 110名

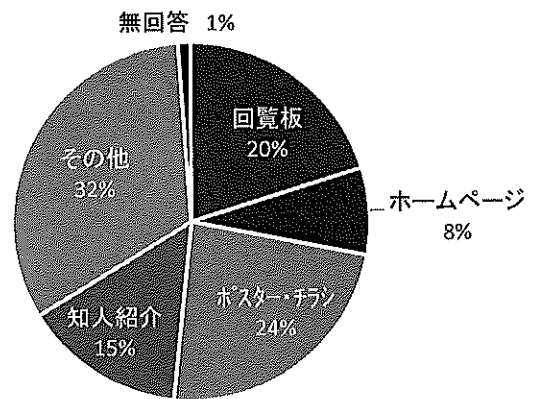
(5) 来場者アンケート結果

回答数89名（市内70名・市外17名・不明2名）

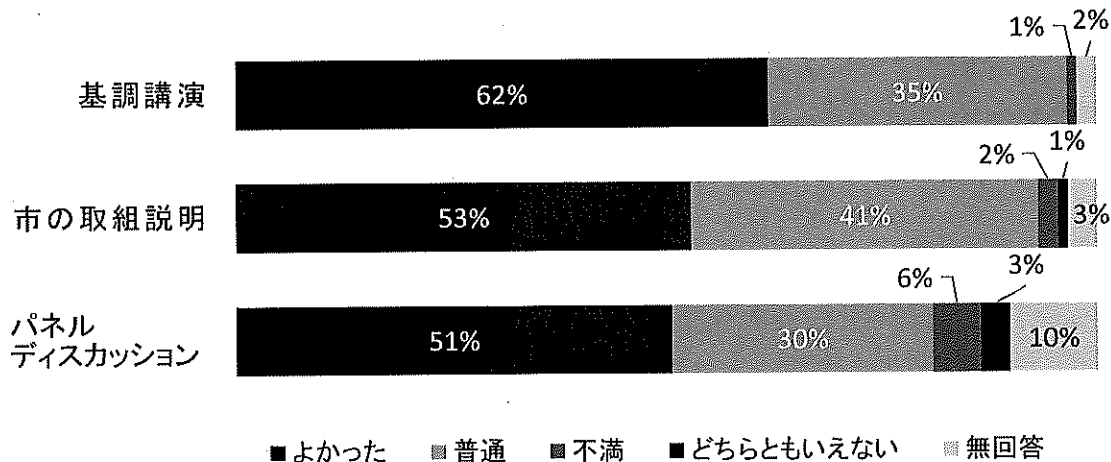
【年齢】



【シンポジウムを何で知ったか】



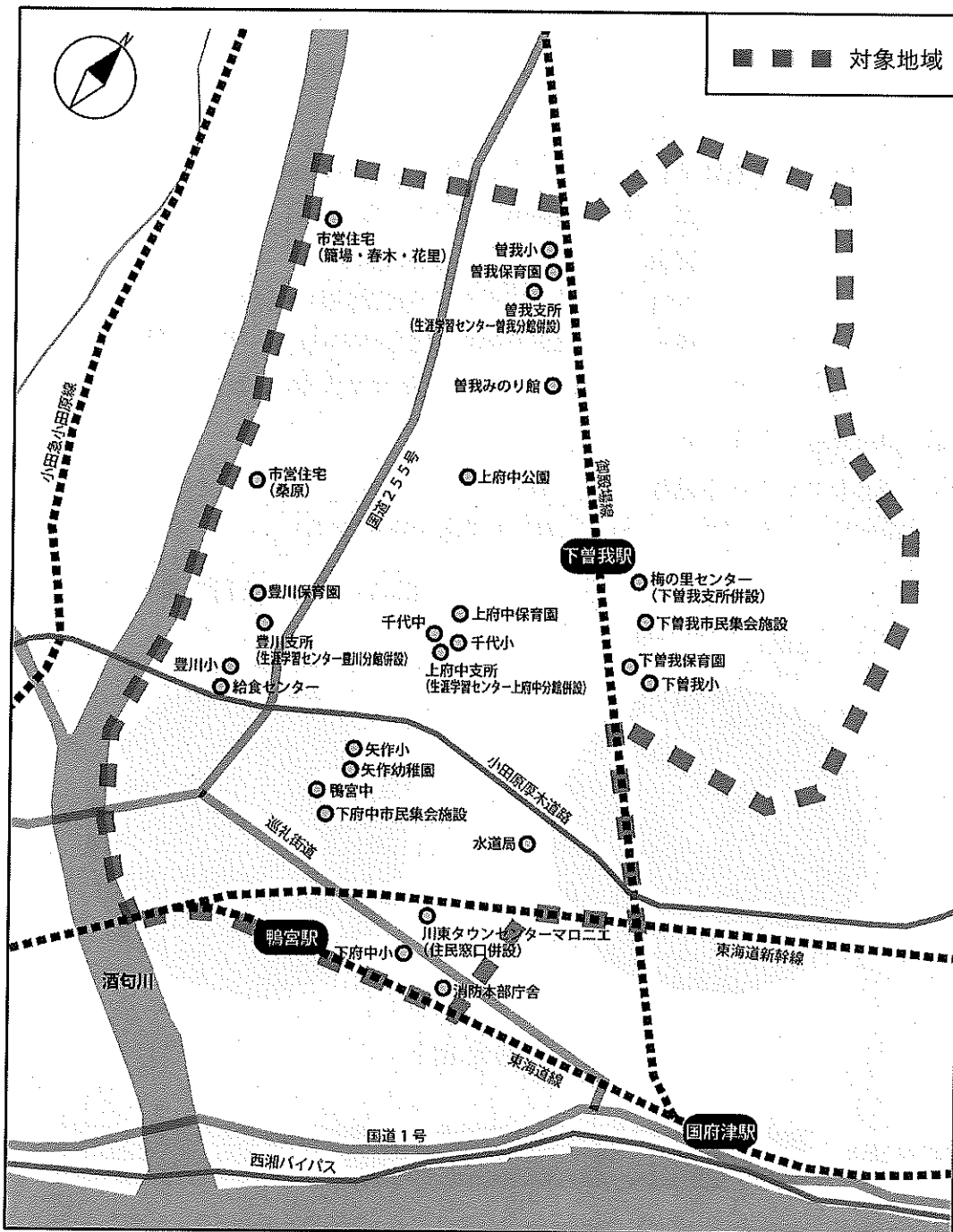
【満足度】



6 ワークショップ

(1) 目的

下図に示す地域をモデルに、公共施設を取り巻く課題や今後の施設再編の取組に対する理解を深めるとともに、地域にとっての公共施設のあり方や地域の魅力をどのように次世代に継承していくべきかを検討し、市民自らが地域の将来像を描き出すことを目的とする。



(2) 運営

対象地区 (自治会連合会)	運営 (ファシリテーター)
鴨宮地区 (下府中・豊川)	工学院大学 (遠藤 新 教授)
千代地区 (上府中・曾我・下曾我)	横浜市立大学 (鈴木伸治 教授)

(3) 参加者

	推薦組織	所属団体等	役職
鴨宮地区	下府中まちづくり委員会	自治会連合会	副会長
		民生委員児童委員協議会	副会長
		体育振興会	会長
		青少年育成推進委員会	副会長
		老人クラブ連合会	副会長
		消防団第16分団	分団長
		コミュニティShin ²	会長
	豊川地域コミュニティ運営協議会	自治会連合会	会長
		自治会連合会	副会長
		自治会連合会	会計
		民生委員児童委員協議会	会長
		体育協会	会長
		青少年育成会	会長
		地域コミュニティ運営協議会	防災・防犯分科会会長
	PTA連絡協議会	下府中小学校	PTA副会長
		矢作小学校	PTA会長
		豊川小学校	PTA会長
		鴨宮中学校	PTA会長
	計 18名		
千代地区	上府中地区まちづくり委員会	自治会連合会	会長
		社会福祉協議会	会長
		民生委員児童委員協議会	会長
		体育協会	会長
		青少年育成協議会	会長
	曾我地区みまもり委員会	中河原自治会	副会長
		上曾我自治会	副会長
		下大井自治会	副会長
	下曾我地区団体運営協議会	曾我原自治会	会長
		曾我神戸自治会	会長
		下曾我交通安全母の会	会長
		曾我別所老人クラブ(高砂会)	会長
		社会福祉協議会	会長
	PTA連絡協議会	千代小学校	PTA会長
		下曾我小学校	PTA会長
		曾我小学校	PTA顧問
		千代中学校	PTA会長
計 17名			

(4) 開催実績

対象地区	日時・場所	内 容
鴨宮地区	【第1回】 ・ 9月22日（金） 18:30～20:30 ・ 川東タウンセンター マロニエ集会室 202	・ まちづくりワークショップの進め方 ・ 小田原市における取組の説明 ・ グループ意見交換・発表 「鴨宮地区の公共施設に対する思いを自由に語る」
	【第2回】 ・ 10月24日（火） 18:30～20:30 ・ 川東タウンセンター マロニエ集会室 203	・ 公共施設の老朽化度合と施設にこれから掛かる将来費用概算 ・ グループ意見交換・発表 「どんなサービスや施設を再編することができるのか話し合う」
千代地区	【第1回】 ・ 9月29日（金） 18:30～20:30 ・ 梅の里センター 大会議室	・ まちづくりワークショップの進め方 ・ 小田原市における取組の説明 ・ グループ意見交換・発表 「千代地区の公共施設に対する思いを自由に語る」
	【第2回】 ・ 10月23日（月） 18:30～20:30 ・ 梅の里センター 大会議室	・ 小田原市の人口構成 ・ グループ意見交換・発表 「これからの千代地区の暮らし方について考えよう」

※開催回数（予定） 平成29年度：5回 平成30年度：5回 計10回

下大井地区の墓地の経営許可について

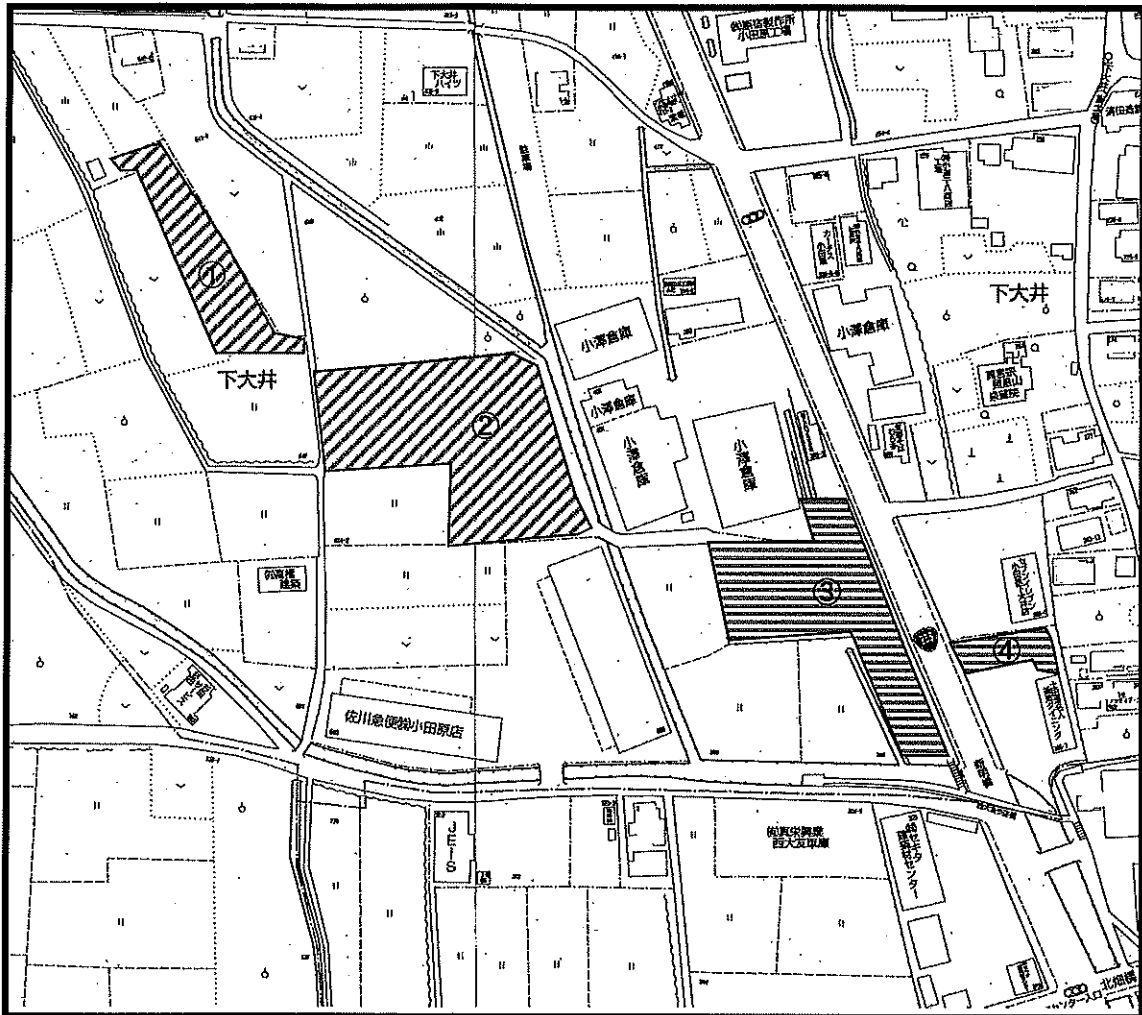
- 1 許可申請者 宗教法人 妙泉寺（小田原市本町）
- 2 所在地 小田原市下大井字下根387-1ほか
- 3 許可日 平成29年11月1日
- 4 敷地面積 2,768.39㎡
- 5 墓地の区画数 476区画
- 6 駐車場の台数 20台
- 7 その他


小田原市墓地等の経営許可等に関する条例第7条に基づく近隣住民との協議において、許可申請者が住民に対して約束した次の事項については、確実に実施する旨の条件を付して許可した。

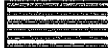
(1) 交通渋滞及び事故について	繁忙期には交通整理員を配置し、ミラーや回転灯等の事故防止策を実施すること。
(2) 通学路について	通学路を通るルートを使わないよう指導すること。
(3) ゴミ及び線香の影響について	ゴミは処理業者に依頼し、無煙無臭の線香を使用するよう周知すること。
(4) 排水について	雨水は浸透ます等により、敷地内処理とすること。
(5) 進入路と周辺道路について	敷地への進入路の幅員は5mを確保し、国道から進入するよう指導すること。
(6) 常駐の管理人の有無について	管理事務所には常駐の管理人を置くこと。
(7) 国道の反対側の駐車場の利用に当たり、国道を横断してしまう懸念について	国道を横断しないよう指導し、契約書にも歩道橋利用を明記すること。
(8) 周辺道路への駐車について	利用者が周辺道路に駐車しないよう注意し、駐車した場合は移動させること。



位置図



 当初計画部分のうち、最終計画から外れた部分

 最終計画部分

当初計画 [7, 215.47㎡]

① + ② (墳墓 1,941区画) + ③ (駐車場90台)

最終計画 [2,768.39㎡]

③ (墳墓 476区画・駐車場8台) + ④ (駐車場12台)

(仮称) 豊川出張所の整備について

現在、小田原市では、「小田原市消防署所再整備計画」に基づき、老朽化した消防署所の再整備を進めている。消防署所の再整備は、消防力の整備指針（国の告示）に基づき、都市形態の変化や市街地の形成状況、都市計画道路の整備状況、更には（一財）消防防災科学センターによる科学的分析結果等を踏まえ、消防署所の配置の見直しを行い、消防力の総合的な向上を図るものである。

1 再整備対象署所

消防署所の老朽化、耐震化の未実施、消防力の近接等の観点から、現在の国府津出張所及び西大友出張所を統合し、新たに（仮称）豊川出張所を再整備する。

（仮称）豊川出張所は、管轄エリアのほぼ中心に位置し、消防活動における重要な役割を担う出張所となる。

また、南足柄市にある岡本出張所についても現地で建替え、再整備する。

2 再整備場所

現署所名	再整備方法	再整備場所ほか概要
国府津出張所	移転統合再配置 ↓ (仮称)豊川出張所	建設候補地：小田原市成田 923 他（宗沢公園の一部） 敷地面積：約 1,400 m ² 配置部隊：消防隊、救急隊（配置人員：20 名） 配置車両：消防ポンプ車、高規格救急車ほか 庁舎概要：地上 2 階建て、延面積約 1,000 m ²
西大友出張所		

※岡本出張所は現地建替え（既存所同規模）。

3 想定される再整備の効果

- 救急隊が増隊され、増大する救急需要に対応することが可能となる。
（川東地区の救急車が 2 台から 3 台に増車される。）
- 管轄エリア全体の平均現場到着時間が短縮する。
- 老朽化等の課題解決により大規模災害時に継続的な対応が可能となる。
- 消防署所の効率化（11 署所→10 署所）により経費が縮減できる。

4 再整備スケジュール（予定）

平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018)	平成 31 年度 (2019)	平成 32 年度 (2020)
工事関連調査	実施設計	建設工事	解体工事 (旧出張所庁舎)
基本計画策定			

※（仮称）豊川出張所の整備スケジュール

5 住民等に対する事業説明

- ・(仮称)豊川出張所に関する事業説明は、消防署所再整備による影響が比較的大きい国府津地区、上府中地区、豊川地区及び前羽地区を対象とした。
- ・対象地区の連合会長、単位自治会長へ消防署所再整備事業の説明を実施した。

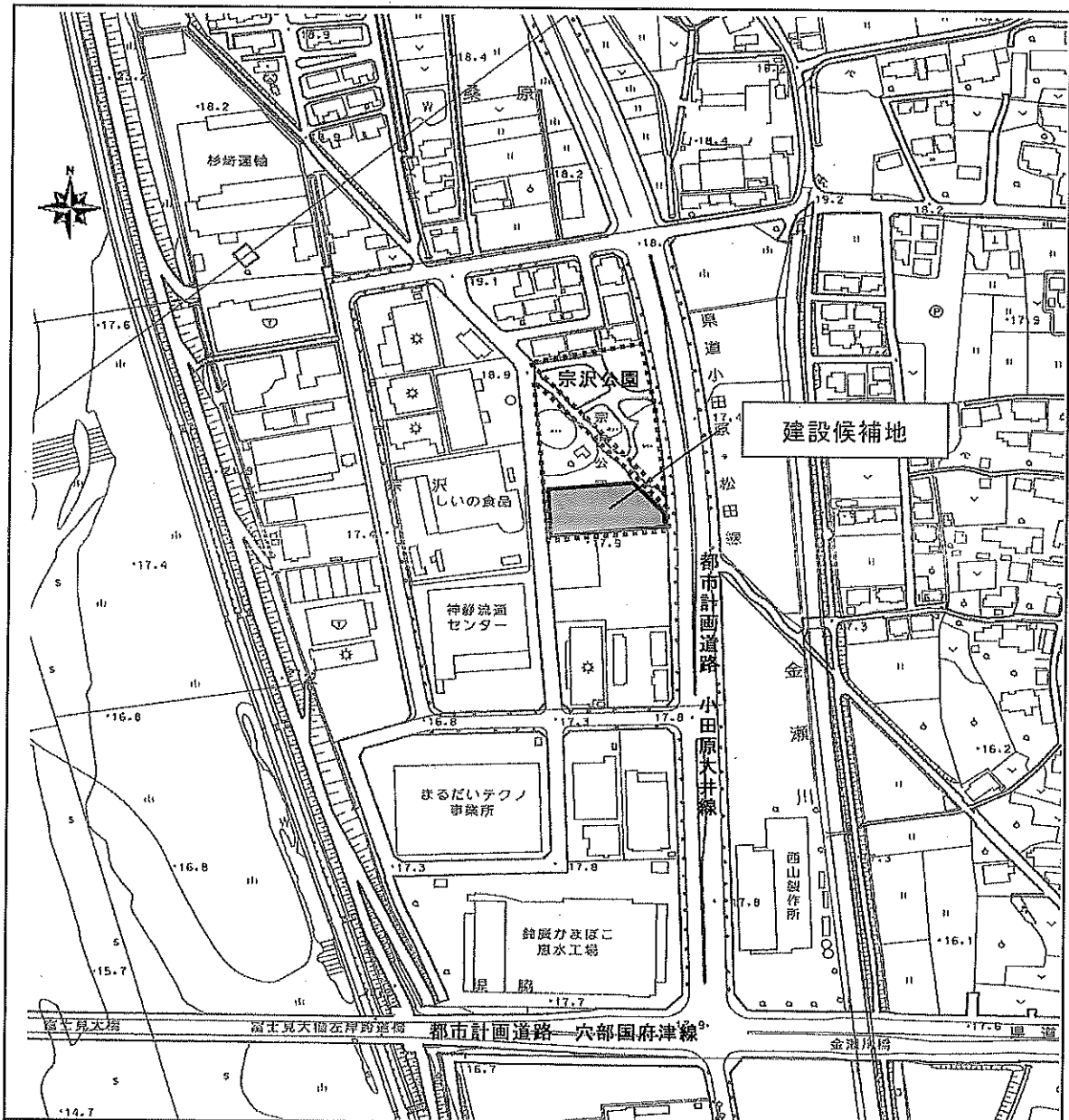
【今後の住民説明予定】

※(仮称)豊川出張所の説明スケジュール

平成29年 10月	11月	12月	平成30年 1月
<ul style="list-style-type: none"> ・説明地域選定 ・連合会長相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会場選定 ・資料等作成 ・案内回覧 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等の基本計画反映

※豊川連合自治会については、小田原都市計画地区計画の変更手続きにあわせ既に説明を開始している。

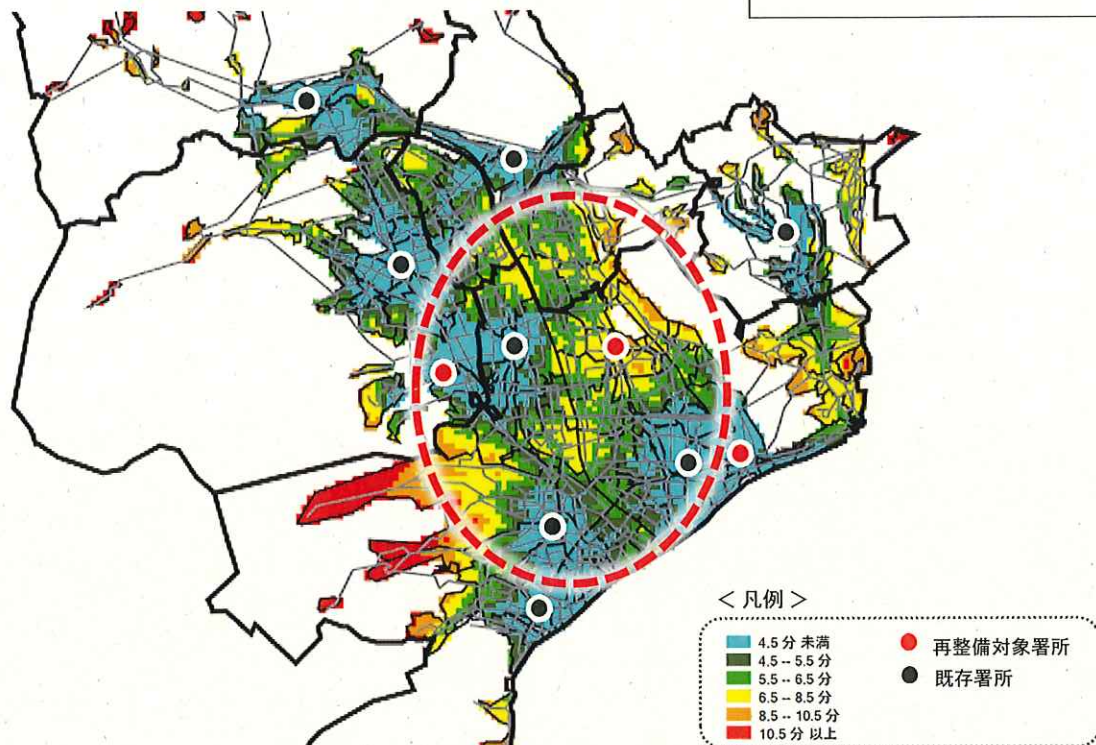
(仮称)豊川出張所案内図



救急車の走行時間の分布の比較

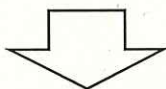
参考資料4-1

【現状】

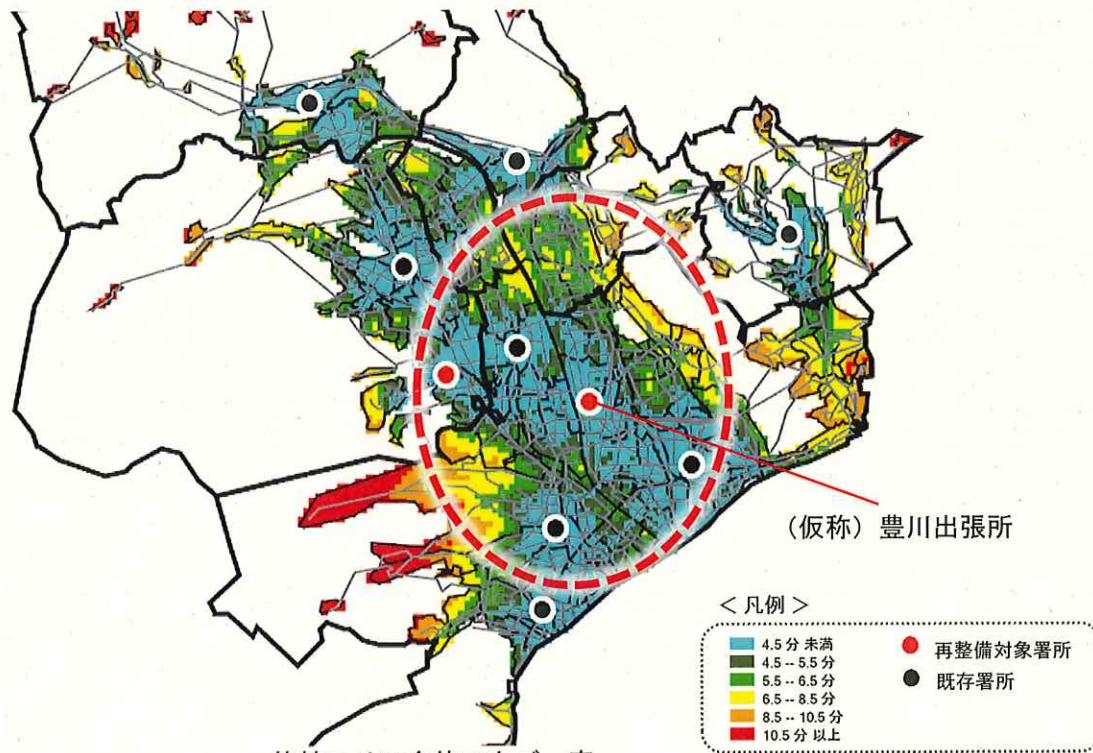


管轄エリア全体のカバー率

4.5分以内	5.5分以内	6.5分以内	平均走行時間
47%	67%	80%	5.3分



【再整備後】



管轄エリア全体のカバー率

4.5分以内	5.5分以内	6.5分以内	平均走行時間
55%	74%	83%	5.1分

※ (一財) 消防防災科学センターによる消防力適正配置調査結果

